

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-118210

(P2006-118210A)

(43) 公開日 平成18年5月11日(2006.5.11)

(51) Int. Cl.

E O 4 H 1/02 (2006.01)

E O 4 F 19/08 (2006.01)

F I

E O 4 H 1/02

E O 4 F 19/08 1 O 2 P

テーマコード (参考)

2 E O 2 5

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2004-307022 (P2004-307022)

(22) 出願日 平成16年10月21日 (2004.10.21)

(71) 出願人 000114086

ミサワホーム株式会社

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号

(74) 代理人 100090033

弁理士 荒船 博司

(72) 発明者 白浜 一志

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミ

サワホーム株式会社内

Fターム(参考) 2E025 AA01 AA14 AA22

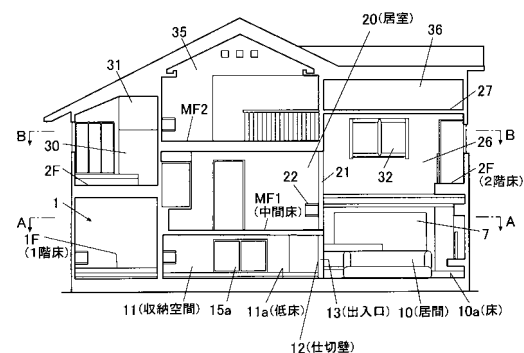
(54) 【発明の名称】 建物

(57) 【要約】

【課題】 中間床と1階床より低い位置にある低床との間が収納空間された場合に、この収納空間に容易に出入りできる建物を提供する。

【解決手段】 1階床1Fより高く、2階床2Fより低い位置に中間床MF1が設けられ、この中間床MF1と、前記1階床1Fより低い位置にある低床11aとの間が収納空間11とされ、収納空間11に隣接して居間10が設けられ、この居間10の床10aと前記低床11aとが同高さに配置され、この居間10と前記収納空間11とを仕切る仕切壁12に、前記収納空間11に出入りするための出入口13が形成されている。したがって、この出入口13を通して収納空間11に容易に出入りできる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 階床より高く、2 階床より低い位置に中間床が設けられ、この中間床と、前記 1 階床より低い位置にある低床との間が収納空間とされた建物において、

前記収納空間に隣接して居間が設けられており、この居間の床と前記低床とが同高さに配置されており、この居間と前記収納空間とを仕切る仕切壁には、前記収納空間に出入りするための出入口が形成されていることを特徴とする建物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の建物において、前記低床は、土間床で構成されており、前記収納空間を形成する壁のうちの少なくとも一つの壁は、外壁で構成されており、この外壁には、収納空間に出入りするための開口部と、この開口部を開閉する戸が設けられていることを特徴とする建物。 10

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の建物において、前記中間床上には、居室が設けられており、この居室の壁には、前記居間に開口する開口部が形成されていることを特徴とする建物。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の建物において、前記居間の上方は吹抜け空間となっていることを特徴とする建物。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の建物において、前記居間の壁の少なくとも一つの壁は、外壁で構成されており、この外壁には、居間に出入りするための開口部と、この開口部を開閉する戸が設けられていることを特徴とする建物。 20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、建物に係り、特に 1 階の中間床の下方に収納空間を有する建物に関する。に

【背景技術】

【0002】

1 階の中間床の下方に収納空間を有する建物の一例として、特許文献 1 に記載のものが知られている。この特許文献 1 に記載の建物は、建物の 1 階に、その床の一部を他の部分より高くした高床部分（中間床）を設け、その高床部分の下に収納空間を設け、その収納空間の床を、建物の 1 階の床より低くしたものである。高床部分の高さは、1 階の床から 60 cm 程度であり、収納空間の床と 1 階の床との段差は 60 cm 程度である。したがって、収納空間の天井高は 1.2 m 程度となっており、大人が腰を屈めて作業できる高さを有している。 30

【特許文献 1】特開 2001-323667 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

ところで、上記特許文献 1 に記載の建物では、収納空間への出入口が何処に設けられているかは不明である。この出入口を、例えば、収納空間と 1 階の部屋とを仕切る仕切壁に設けた場合、この仕切壁の高さは、前記高床部分の高さである 60 cm であるので、この仕切壁に設ける出入口の高さは最大で 60 cm である。 40

【0004】

したがって、出入口の高さを十分に確保できないため、収納空間への出入りが困難になるという問題がある。

【0005】

本発明は上記事情に鑑みてなされたもので、中間床と 1 階床より低い位置にある低床との間が収納空間された場合に、この収納空間に容易に出入りできる建物を提供することを 50

課題としている。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するために、請求項1に記載の発明は、例えば図1～図4に示すように、1階床1Fより高く、2階床2Fより低い位置に中間床MF1が設けられ、この中間床MF1と、前記1階床1Fより低い位置にある低床11aとの間が収納空間11とされた建物において、

前記収納空間11に隣接して居間10が設けられており、この居間10の床10aと前記低床11aとが同高さに配置されており、この居間10と前記収納空間11とを仕切る仕切壁12には、前記収納空間11に出入りするための出入口13が形成されていること

10

【0007】

ここで、前記中間床MF1は、前記収納空間11の天井高が0.9m～1.4mとなるように、高さ方向の位置を設定するのが望ましい。

【0008】

また、前記低床11aは、1階床1Fより低い位置に形成された土間床であってもよいし、土間床以外の通常の床であってもよい。要は、1階床1Fより低い位置に設けられた床であればよい。

【0009】

さらに、前記出入口13には、これを開閉する戸を設けてもよい。

20

【0010】

請求項1に記載の発明によれば、収納空間11に隣接して居間10が設けられており、この居間10の床10aと収納空間11の低床11aとが同高さに配置されており、この居間10と前記収納空間11とを仕切る仕切壁12に、前記収納空間11に出入りするための出入口13が形成されているので、この出入口13を通して収納空間11に容易に出入りできる。

【0011】

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の建物において、前記低床11aは、土間床で構成されており、前記収納空間11を形成する壁のうちの少なくとも一つの壁は、外壁14で構成されており、この外壁14には、収納空間11に出入りするための開口部15

30

と、この開口部15を開閉する戸15aが設けられていることを特徴とする。

【0012】

請求項2に記載の発明によれば、低床11aが土間床で構成されており、外壁14に、収納空間11に出入りするための開口部15と、この開口部15を開閉する戸15aが設けられているので、建物の外部から戸15aを開けて開口部15から収納空間11に容易に出入りでき、また、戸15aを閉じることによって、外部からの収納空間11への風雨の侵入を防止できる。

【0013】

請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載の建物において、前記中間床MF1上には、居室20が設けられており、この居室20の壁には、前記居間10に開口する開口部21が形成されていることを特徴とする。

40

【0014】

ここで、開口部21は前記出入口13上に、連続して形成してもよいし、出入口13とは所定の間隔をもって形成してもよい。

【0015】

請求項3に記載の発明によれば、中間床MF1上の居室20と、1階の居間10との間で開口部21を通して容易にコミュニケーションを図ることができるとともに、居間10と居室20との間で風通しがよくなる。

【0016】

請求項4に記載の発明は、請求項1～3のいずれか一項に記載の建物において、前記居

50

間 10 の上方は吹抜け空間 26 となっていることを特徴とする。

【0017】

請求項 4 に記載の発明によれば、居間 10 の床 10a は、1 階床 1F より低い位置にあり、かつ、居間 10 の上方が吹抜け空間 26 となっているので、居間 10 は天井高が非常に高くなり、よって開放感を高めることができる。

【0018】

また、中間床 MF1 上に居室 20 がある場合には、その開口部 21 から吹抜け空間 26 を臨むことができるので、居室 20 の開放感も高めることができる。

【0019】

請求項 5 に記載の発明は、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の建物において、前記居間 10 の壁の少なくとも一つの壁は、外壁 17 で構成されており、この外壁 17 には、居間 10 に出入りするための開口部 18 と、この開口部 18 を開閉する戸 18a が設けられていることを特徴とする。 10

【0020】

請求項 5 に記載の発明によれば、居間 10 の床 10a が 1 階床 1F より低い位置にあり、外壁 17 に居間 10 に出入りするための開口部 18 が設けられているので、外部と居間 10 との間を容易に行き来できる。つまり、居間 10 の床面 10a と外部の庭や土間等の面との段差を無くするか、あるいは小さくできるので、例えば、車椅子等でも外部と居間 10 との間を容易に行き来できる。

【0021】

また、戸 18a を開けて開口部 18 を開放することによって、居間 10 と収納空間 11 とを仕切る仕切壁 12 に形成された出入口 13 を通して収納空間 11 に通風や採光を確保できる。 20

【発明の効果】

【0022】

本発明によれば、中間床と、1 階床より低い位置にある低床との間に設けられた収納空間に隣接して居間が設けられており、この居間の床と前記低床とが同高さに配置されており、この居間と前記収納空間とを仕切る仕切壁に、前記収納空間に出入りするための出入口が形成されているので、この出入口を通して収納空間に容易に出入りできる。

【発明を実施するための最良の形態】

30

【0023】

以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

【0024】

図 1 は本発明に係る建物の一例を示す側断面図、図 2 は図 1 における A-A 線視断面図、図 3 は収納空間の平面図、図 4 は図 1 における B-B 線視断面図である。

【0025】

図 1 および図 2 に示すように、玄関 1 は建物の南西角部に設けられており、この玄関 1 の玄関ホール 1a の北側に、洗面所 2 と浴室 3 とが東西に隣接して設けられている。洗面所 2 の東側にはキッチン 4 が設けられている。また、玄関ホール 1a からは廊下 5 が東側に向けて延在しており、この廊下 5 の途中には、前記浴室 3 とキッチン 4 との間に位置する廊下 5a が接続されている。この廊下 5a の突き当たりにはトイレ 6 が設けられている。キッチン 4 の南側には、ホール 7 が設けられており、このホール 7 は前記廊下 5 に接続されている。 40

【0026】

前記玄関ホール 1a、洗面所 2、浴室 3、キッチン 4、廊下 5、5a、トイレ 6、ホール 7 等の床は、全て等しい高さに位置しており、1 階床を構成している。

【0027】

図 1 に示すように、この 1 階床 1F より高く、かつ、2 階床 2F より低い位置には中間床 MF1 が設けられている。また、前記ホール 7 の南側には、居間 10 が設けられており、この居間 10 の床 10a は、1 階床 1F より低い位置にある。床 10a は土間床で構成 50

されている。

【0028】

また、前記中間床MF1の下方には、低床11aが設けられており、この低床11aと前記床10aは同高さとなっている。そして、中間床MF1と低床11aとの間に天井高が0.9～1.4m程度の収納空間11が設けられている。

【0029】

図3に示すように、前記収納空間11と居間10とを仕切る仕切壁12には、収納空間11に出入りするための出入口13が形成されている。また、収納空間11を形成する南側の壁は外壁14で構成されており、この外壁14には、収納空間11に外部から出入りするための開口部15と、この開口部15を開閉する戸15aが設けられている。戸15aは引違い式のものであり、その面は格子状に形成されている。したがって、戸15aを閉じた状態でも、外部から戸15aを通して収納空間11に採光できるようになっている。なお、戸15aには、防犯上、内側からロックできる鍵が設けられている。また、収納空間15を形成する北側の内壁には、開口部16とこの開口部16を開閉する戸16aとが設けられている。戸16aは引戸であり、その面は格子状に形成されている。

【0030】

図2に示すように、前記居間10の南側の壁は外壁17で構成されており、この外壁17には、居間10に出入りするための開口部18とこの開口部18を開閉する戸18aが設けられている。戸18aは折り戸式のものであり、開口部18を全開できるようになっている。開口部18の外側には、テラス19が設けられており、このテラス19の床と居間10の床10aとはほぼ同じ高さとなっている。また、このテラス19は西側に延出しており、収納空間11前、玄関1前まで連続している。

【0031】

したがって、テラス19、居間10、収納空間11は、人やペット等が円形状の動線を描くようにして移動できる。

【0032】

図1および図2に示すように、中間床MF1上には、居室20が設けられている。この居室20は中央部に畳を備えた和風の居室であり、その東側の内壁には、前記居間10に開口する開口部21が形成されている。この開口部21は居室20の天井まで開口した大きな開口であり、その下部には柵22が開口部21を横切るようにして設けられている。

【0033】

また、建物の中央部には階段室が設けられており、この階段室には、1階のホール7の床と中間床MF1とを接続する階段23と、中間床MF1と2階床2Fとを接続する階段24と、2階床2Fとその上の中間床MF2とを接続する階段25とが設けられている。

【0034】

そして、前記居室20には、階段23の踊り場23aから出入りできるようになっている。

【0035】

また、図1および図4に示すように、居間10の上方は、吹抜け空間26となっており、この吹抜け空間26は前記中間床MF2より1段高い位置にある天井床27まで吹抜けしている。

【0036】

前記2階床2F上には、図1および図4に示すように、西側に部屋28が設けられており、東側に部屋29が設けられている。部屋28は子供部屋として使用されるものであり、該部屋28の北側には収納空間30が設けられている。この収納空間30は天井高が0.9～1.4m程度の空間であり、その上方にはロフト31が設けられている。

【0037】

また、部屋29は夫婦の寝室として使用されるものであり、該部屋29の南側の内壁には、窓32が設けられており、この窓32は前記吹抜け空間26に面している。部屋29には前記吹抜け空間26の一辺に沿って延在する廊下33が接続されている。また、建物

の２階の南東角部にはバルコニー３４が設けられており、このバルコニー３４には、前記廊下３３が接続されている。

【００３８】

前記中間床ＭＦ２には、部屋３５が設けられている。この部屋３５はアトリエとして使用されるものであり、その東側には、図１に示すように、前記天井床２７上にロフト３６が設けられている。そして、このロフト３６には部屋３５から物を出し入れできるようになっている。なお、部屋３５には、前記階段２５の踊り場２５ａから出入りできるようになっている。

【００３９】

本実施の形態によれば、収納空間１１に隣接して居間１０が設けられており、この居間１０の床１０ａと収納空間１１の低床１１ａとが同高さに配置されており、この居間１０と前記収納空間１１とを仕切る仕切壁１２に、前記収納空間１１に出入りするための出入口１３が形成されているので、この出入口１３を通して収納空間１１に容易に出入りできる。

【００４０】

また、収納空間１１の低床１１ａが土間床で構成されており、外壁１４に、収納空間１１に出入りするための開口部１５と、この開口部１５を開閉する戸１５ａが設けられているので、建物の外部から戸１５ａを開けて開口部１５から収納空間１１に容易に出入りでき、また、戸１５ａを閉じることによって、外部からの収納空間１１への風雨の侵入を防止できる。

【００４１】

さらに、中間床ＭＦ１上の居室２０と、１階の居間１０との間で開口部２１を通して容易にコミュニケーションを図ることができるとともに、居間１０と居室２１との間で風通しがよくなる。

【００４２】

加えて、居間１０の床１０ａは、１階床１Ｆより低い位置にあり、かつ、居間１０の上方が吹抜け空間２６となっているので、居間１０は天井高が非常に高くなり、よって開放感を高めることができる。

【００４３】

また、中間床ＭＦ上に居室２０があるので、その開口部２１から吹抜け空間２６を臨むことができるので、居室２０の開放感も高めることができる。

【００４４】

また、居間１０の床１０ａが１階床１Ｆより低い位置にあり、外壁１７に居間１０に出入りするための開口部１８が設けられているので、外部と居間１０との間を容易に行き来できる。つまり、居間１０の床面１０ａと外部のテラス１９との段差を無くするか、あるいは小さくできるので、例えば、車椅子等でも外部のテラス１９と居間１０との間を容易に行き来できる。

【００４５】

また、戸１８ａを開けて開口部１８を開放することによって、居間１０と収納空間１１とを仕切る仕切壁１２に形成された出入口１３を通して収納空間１１に通風や採光を確保できる。

【図面の簡単な説明】

【００４６】

【図１】本発明に係る建物の一例を示す側断面図である。

【図２】図１におけるＡ－Ａ線視断面図である。

【図３】本発明に係る建物の一例を示すもので、収納空間の平面図である。

【図４】図１におけるＢ－Ｂ線視断面図である。

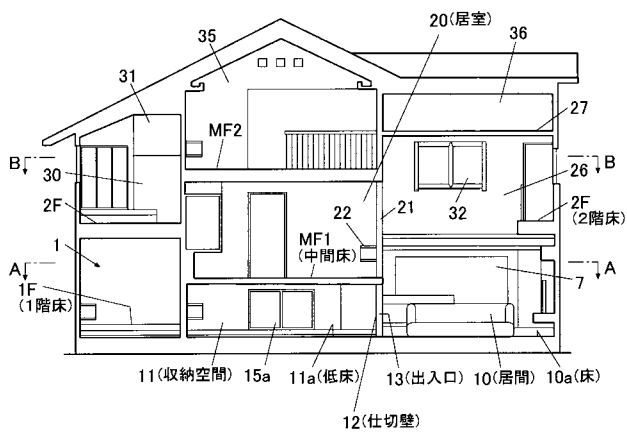
【符号の説明】

【００４７】

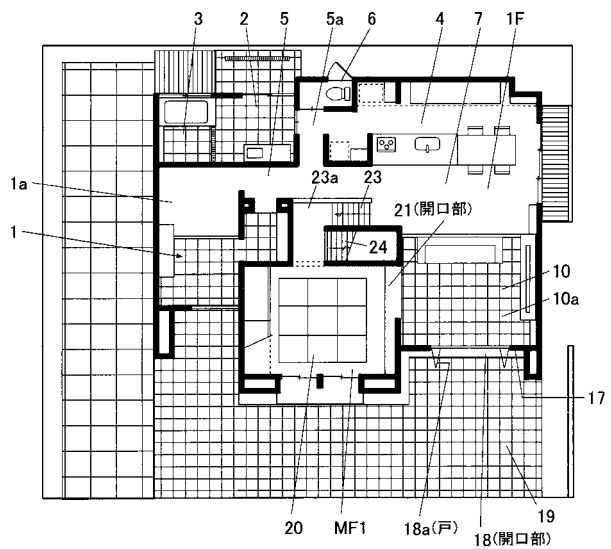
１０ 居間

- 1 0 a 床
- 1 1 収納空間
- 1 1 a 低床
- 1 2 仕切壁
- 1 3 出入口
- 1 4 外壁
- 1 5 開口部
- 1 5 a 戸
- 2 0 居室
- 2 1 開口部
- 2 6 吹抜け空間
- 1 F 1 階床
- 2 F 2 階床
- M F 1 中間床

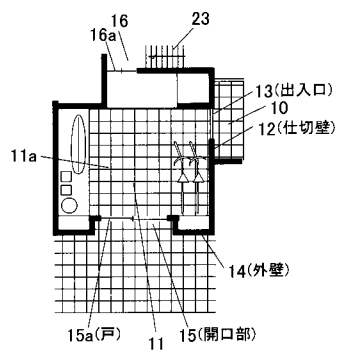
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

